



藤本 みのる 通信

Vol 261

2017年5月30日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

市立中央病院の経営改善で欠かせない視点

市立中央病院の健全化については、市長から第一回市議会定例会において、次のように表明がありました。

「病院内部でおこなってきた経営改善では思うような成果が出ないことから、病院運営委員会において、専門家やコンサルタントを入れて議論し提言を市長に提出すべきだとの意見が出され、1月に小委員会が設置されました。中央病院の診療のあり方、経営改善の方策、経営形態の見直しなどについて検討を行い、本年6月をめどに提言書として取りまとめていただきます」

市の財政が厳しい中で、巨額の赤字補填が続くのは何とかしなくてはなりません。仮に民間病院が肩代わりした場合に、市が負っている地域医療への責任は大きく後退するのではないかと、地域医療ネットワークの拠点として、医療・介護・保健・福祉政策と組織を結ぶよう努力してきたことに中断はないかと、さらに将来病院自体が無くなることはないかなど、慎重に議論しなくてはなりません。公費が使われている以上、効率性や節約が求められるのは当然ですが、市民の命と健康に直接かかわる事業に対して、採算性を基準にする議論は違和感を覚えます。しかし、同規模自治体病院の中でも、大月病院は特に厳しい状況にあるのは事実ですので、懸念をふまえた真摯な議論に努めたいと思います。

病院改革プランでの「経営形態の見直し」

(総務省「公立病院改革ガイドライン」に沿って策定)

「2008年プラン」

2012年度中に判断する

「2013年プラン」

新病棟建設事業(2012年11月～2014年3月)に伴い、現状経営を維持した上で2019年度までの実績を検証の上、最終的判断

「2017年プラン」

現状では病院経営は維持できないことから、2017年度中に見直しを行い最終的な判断を行う

病院運営委員会内小委員会が6月をめどに提言をまとめ、市長に提出する

【藤本みのる活動日誌】

5月22日(月) 県職員と現地確認(小篠地内)

5月23日(火) イノシワな設置(小篠地内の畑でジャガイモの被害)

5月27日(土) 田植え(自家用)